

ここまで進んだ! ここまで分かった!

国立国語研究所の 日本語研究



司会 野田尚史(国立国語研究所 日本語教育研究・情報センター教授)

13:00-13:15 開会の辞～国立国語研究所 6年間の歩み～
影山太郎(国立国語研究所長)

13:15-13:45 <ウチから見た日本語の多様性>
危機方言はおもしろい～方言にひそむ多様な発想法～
木部暢子(国立国語研究所 時空間変異研究系教授)

13:45-14:15 言語研究のインフラ整備～日本語コーパスから見えてきたもの～
前川喜久雄(国立国語研究所 言語資源研究系教授)

14:30-15:30 ポスター展示とデモンストレーション(中会議場)

15:40-16:10 <ソトから見た日本語の特質と普遍性>
日本語の音声～促音(っ)の謎～
窪蘭晴夫(国立国語研究所 理論・構造研究系教授)

16:10-16:40 言語の普遍性と多様性
～自動詞・他動詞の対応にみられる普遍的傾向～
プラシャント・パルデン(国立国語研究所 言語対照研究系教授)

16:40-17:10 <ソトとウチの接点としての日本語学習>
日本人と外国人の日本語コミュニケーション
～学習者の「安全な誤用」と「危険な正用」～
迫田久美子(国立国語研究所 日本語教育研究・情報センター教授)

17:10-17:15 閉会の辞 ～今後の展望～



●一橋講堂へのアクセス……

東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線
「神保町」駅(A9出口)徒歩3分
東京メトロ東西線「竹橋」1b出口徒歩5～8分

聴講無料
要事前申し込み

●主催……



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国立国語研究所

National Institute for Japanese Language and Linguistics

NINJAL

ここまで進んだ! ここまで分かった! 国立国語研究所の 日本語研究

国立国語研究所は、大学共同利用機関に移行してから6年(第2期中期計画期間の終了)という節目を迎えます。1948(昭23)年の発足当初は、ウチ(すなわち国民)の視点から見た「国語」を研究することがミッションでしたが、現在ではウチの視点だけでなく、ソト(世界の諸言語)の視点、そしてソトとウチの接点としての「外国人の日本語学習」という3つの視点から日本語を多角的・総合的に研究する機関へと進化してきました。ウチの視点から見ると、一口に日本語といっても方言や歴史変化など実に多様な姿があることが浮き彫りになります。ソトの視点から見ると、世界諸言語の中で日本語が持つ独自性と普遍性が分かってきます。さらに、ウチとソトを融合した大きな視点に立つことで、外国人が日本語を習得する際に経験する諸問題に対する解決の糸口が見えてきます。このフォーラムでは、これら3つの視点から共同研究の成果を分かりやすく紹介するとともに、各種プロジェクトの展示やデモンストレーションも用意しています。ことばに興味を持つ多くの方々のご来場をお待ちします。

●お申込み方法……

入場無料、事前申込制。定員400名(先着順。定員になり次第、受付を締め切ります)。

国立国語研究所ホームページ(<http://www.ninjal.ac.jp/event/public/forum>)からお申し込みください。なお、Eメールもしくはファクシミリでも申込みいただけます。

※第9回フォーラム参加希望]、お名前(ふりがな)、ご住所、電話番号を明記してください。後日、参加証を送付するので、必ず住所の記入をお願いします。

E-mail: forum@ninjal.ac.jp

Fax: 042-540-4334

☆手話通訳をご希望の方はお申込み時にお知らせください。



●問い合わせ先……

国立国語研究所 研究推進課

〒190-8561 東京都立川市緑町10-2

042-540-4300(代)(平日: 9:00~17:30)

ここまで進んだ! ここまで分かった! 国立国語研究所の日本語研究
FAX 申込書 (042-540-4334)

切り取らずにこのまま FAX にてお送りください

ふりがな

氏名

連絡先(自宅 ・ 勤務先) ※連絡先が勤務先の場合、必ず会社名まで明記ください。

〒

電話番号

FAX 番号

E-mail アドレス

@

次回以降のシンポジウム案内を

希望する ・ 希望しない

手話通訳(希望者のみ○をつけてください)

希望する